

地域密着型金融推進計画の進捗状況要約（平成17年4月～19年3月）

I.平成17年4月～19年3月までの全体的な進捗状況及びそれに対する評価

平成17年度は、平成15年4月～17年3月の集中改善期間の成果と課題を踏まえ、短期間で成果が見られる施策、長期間を要する施策等「選択と集中」で推進しました。千葉県信用保証協会提携融資「ダッシュ5000」に続いて「スパート3000」「アシスト2000」の取扱いが可能となり、ある程度の成果は見られましたが、今後も積極的に取組む方針です。

「リスクプライシング算定表」を制定することにより、企業との共通の問題意識が持てました。また、公的機関との連携により、中小企業会計の啓発・普及に役立ったと認識しています。平成18年度は、17年度同様職員の融資審査能力や取引先に対する経営相談・支援能力の向上等を目的として、外部、内部研修を重ねましたが、今後も専門家を交えた研修を重ねていく必要があると認識しています。

又、個人事業主専用ローン（原則保証人不要）の取扱を開始しましたが、今後も担保・保証に過度に依存しない融資の促進方法に対応するため各種説明会等に積極的に参加し検討を重ねたいと考えております。

以上のとおり、集中改善期間から取組んできた分野については総じて計画通りに進捗しましたが、新アクションプログラムで新たに採り上げた施策について成果が見られない項目もあると認識しています。

II.アクションプログラムに基づく個別項目の進捗状況

1.事業再生・中小企業金融の円滑化

項番	項目	取組方針及び目標	具体的取組策とスケジュール			進捗状況	
			17年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月		
(1)	創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> 融資審査能力の向上 地域に密着した営業活動に基づく、将来性のある案件の発掘・育成のための体制強化 起業・事業展開に資する情報の提供 中小企業支援センター等の活用による創業・経営革新等に関する情報提供等 創業・新事業の成長段階に応じた適切な支援 政府系金融機関等との情報交換・連携強化による支援等 	<ul style="list-style-type: none"> 審査能力向上、創業・新事業に関する研修 法人信用格付の稼動、個人信用格付の準備 中小企業支援センターを活用した情報提供 政府系金融機関との情報交換、協調融資の推進 創業・新事業を支援する融資制度の研究 	<ul style="list-style-type: none"> 17年9月5日～9日全国信用組合中央協会主催の「融資審査講座」10月3日～6日「創業・新事業支援&中小企業支援スキル向上講座」に職員を派遣し、伝達講習を10月1日、10月22日にそれぞれ実施しました。 18年1月17日国民生活金融公庫および商工組合中央金庫との業務連携事例にかかる研修会へ出席しました。 18年2月13日～15日全国信用組合中央協会主催の「中小企業等目利き力養成講座」に職員を派遣し、伝達講習を3月11日に実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 18年11月10日(財)千葉県産業振興センターの職員より産学官の連携による産業振興について説明を受け、当組合の全店にパンフレット等を配布しました。 19年2月8日千葉県制度融資説明会に出席し、創業資金、挑戦資金等の説明を受けました。 		
(2)	取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業に対するコンサルティング機能および情報提供機能の強化 各種団体・専門家との連携強化による相談・情報提供活動 要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化 キャッシュフローのモニタリング、融資審査体制の強化等により、不良債権の新規発生防止、要注意先債権等の健全化に努める 健全債権化等の強化に関する実績の公表 経営改善支援先に対する本部と営業店の連携による支援策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体・専門家との連携強化による相談・情報提供活動の立案、実施 中小企業基盤整備機構を活用した中小企業会計セミナーの企画、実施 経営改善支援実施先60先の個別健全化策の立案、実践 融資先のキャッシュフロー分析の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先の経営者・財務担当者を対象に(独)中小企業基盤整備機構と共同主催による「中小企業会計啓発・普及セミナー」を17年11月16日(水)開催しました。 17年12月12日中小企業と地域金融を考えるシンポジウムに参加しました。 <事例発表>営業店における経営改善支援の取組み(川崎信用金庫) 18年11月11日中小公庫開催のリリースンシップバンキングの機能強化に向けた第4回情報交換会に出席しました。 	<ul style="list-style-type: none"> (財)千葉県産業振興センターの取引マッチングシステムを営業店に配布し、取引先の利用を図りました。 18年12月5日地域密着型金融に関するシンポジウムに参加しました。 		
(3)	事業再生に向けた積極的取組み	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の過剰債務の解消や社会のニーズの変化に対応した事業の再構築 中小企業再生支援協議会、千葉県再生ファンドとの連携、活用 再生支援実績に関する情報開示の拡充 成功事例については定期的にホームページ等で公表する 	<ul style="list-style-type: none"> 事業再生に関する研修実施 中小企業再生支援協議会に関する研修実施 中小企業再生支援協議会対象先選考会実施 千葉県再生ファンド対象先の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 17年10月11日～14日全国信用組合中央協会主催の「企業再生支援講座」に職員を派遣し、11月5日に伝達講習を実施しました。 17年12月12日中小企業と地域金融を考えるシンポジウムに参加しました。 <事例発表>企業再生ファンドを活用した取組(第四銀行)<事例発表>DDSを活用した事業再生支援(飯能信用金庫) 18年1月23日中小企業再生ファンド検討会全体会議に出席しました。 18年3月31日千葉中小企業再生ファンド発足に出資参加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 19年3月15日千葉中小企業再生ファンドの第1期組合員集會に参加しました。 中小企業の再生に向けて、経営相談、支援を行いました。 		
(4)	①担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> 不動産担保・保証に過度に依存しない融資の促進 財務制限条項とスコアリングシートの活用等による、新型ローンの商品化を図る。 第三者保証が過度なものとならないよう整備を図る 第三者保証に依存しない新型ローンの商品化、保証制度に関する研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小口ビジネスローンの商品開発 ミドルビジネスローンの商品開発 ローンレビューのワークシート・要領策定 保証制度に関する研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> 17年12月12日中小企業と地域金融を考えるシンポジウムに参加しました。 <事例発表>キャッシュフロー計算書ソフトを利用した取組み(山梨信用金庫) 18年2月4日融資担当役員および渉外係を対象に融資研修を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人事業主専用「ビジネス・スモールローン」(原則保証人不要)を積極的に推進しました。 19年2月8日千葉県制度融資説明会に出席いたしました。 		
	②中小企業の資金調達手法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の資金調達手法の多様化を図る 千葉県版CLOの活用等、中小企業の資金調達方法の支援に努める 財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資の推進 信用保証協会等との連携により、財務諸表の精度が高い中小企業に対する融資商品を研究、開発する 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県版CLO、売却債権等を活用した資産担保証券等の検討 信用保証協会と連携した新しい融資商品開発に向けた格付システム精度の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県信用保証協会との提携保証「ダッシュ5000」が平成17年11月1日、「スパート3000」「アシスト2000」においても、追従し平成18年1月4日より取扱いとなりました。 18年3月9日第3回千葉県版CLO説明会に出席しました。 18年12月15日保証推進策について千葉県信用保証協会との情報交換会へ出席しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県信用保証協会との提携保証「ダッシュ5000」「スパート3000」、「アシスト2000」を積極的に推進しました。 		

項番	項目	取組方針及び目標	具体的取組策とスケジュール			進捗状況		
			17年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	17年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月
(5)	顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 顧客への説明態勢の整備と与信取引に関する顧客への説明態勢に係る規程等に則り、顧客への適切かつ十分な説明が行われるよう、態勢を強化する 相談苦情処理機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> 取引先等からの相談・苦情を業務に反映させるため、担当部署や営業店における相談苦情処理態勢を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客説明態勢に関する自店検査による検証 管理部門と営業店とのヒアリングによる重要事項の徹底 組織的対応強化のための苦情トラブル管理規定の改定 職員に対する研修会、営業店への情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情・トラブル管理規定を改定し、本部が速やかに苦情・トラブル等の内容を把握し、組織的な対応ができるようにしました。 契約条件等の重要事項の説明、説明方法等について、職員の研修会を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 19年1月「事務取扱基準（融資編）」を改定し、債務者、保証人等より「与信取引に関する内容承諾及び契約書写し受領書」を徴取するなど説明態勢の強化を図りました。 検査室検査において、融資契約時の説明態勢について検証を行いました。 			
(6)	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 事業再生・中小企業金融円滑化に向けた人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> 中央機関や関係団体等が開催する当該研修への参加 中小企業診断士等の関係資格の取得奨励 	<ul style="list-style-type: none"> 中央機関や関係団体等が開催する当該研修への参加 中小企業診断士等の関係資格の取得奨励 	<ul style="list-style-type: none"> 17年9月5日～6日全国信用組合中央協会主催の「融資審査講座」に職員を派遣し、10月1日に伝達講習を実施しました。 17年10月3日～6日全国信用組合中央協会主催の「創業・新事業支援&中小企業支援スキル向上講座」、17年10月11日～14日「企業再生支援講座」、18年2月13日～15日「中小企業目利き力養成講座」に職員を派遣し、17年10月22日、11月5日、18年3月11日に伝達講習を実施しました。 千葉県信用組合協会主催の「OJT研修」「新入職員フォローアップ研修」に職員を派遣しました。 資格取得奨励制度の見直しのため、きんざい及び経済法令研究会との情報交換を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 18年10月18日～20日全国信用組合中央協会主催の「目利き力養成講座」、18年11月14日～17日「企業再生支援講座」に職員を派遣し、18年12月2日に伝達講習を行いました。 千葉県信用組合協会主催の「支店長研修」、「店頭業務研修」、「新入職員フォローアップ研修」に職員を派遣しました。 19年3月12日付で資格取得奨励制度要綱を一部改正し、対象となる資格を追加しました。 			

2.経営力の強化

項番	項目	取組方針及び目標	具体的取組策とスケジュール			進捗状況		
			17年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	17年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月
(1)	リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> 自己資本比率の算出方法の精緻化 <ul style="list-style-type: none"> 正確で緻密な自己資本比率を算出するため、新BIS基準を視野に入れた定期的な研修の実施 リスク管理の高度化 <ul style="list-style-type: none"> 本部各部署職員の能力向上、営業店におけるリスクの適正管理のための勉強会等の実施 情報開示の拡充に係る適切な態勢整備 <ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応え、適切な判断材料を提供できるように開示情報を拡充する 	<ul style="list-style-type: none"> 部署別等各種勉強会、研修の実施 ディスクロージャー誌等の情報開示項目の充実に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> 17年9月期ディスクロージャー誌「ぼうしんREPORT」を11月に開示すると共に、同12月にホームページ上に掲示しました。 17年12月20日（火）及び18年3月14日（火）自己査定基準説明会を実施し、償却・引当の留意事項等について研修を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 18年10月13日「SKC-ALMシステム導入説明会」に出席しました。 18年10月31日「金利ショック」に関する報告様式説明会に出席しました。 18年9月期ディスクロージャー誌「ぼうしんREPORT」を11月に開示すると共に、12月にホームページ上に掲示しました。 18年12月4日「金融検査マニュアル改訂に関する説明会」に出席しました。 18年12月13日自己査定基準説明会を実施し、償却・引当の留意事項等について研修を実施しました。 18年12月19日本部職員を対象としたパーゼルII対応勉強会を実施しました。 18年12月20日～22日「SKC-ALMシステム導入研修会」に出席しました。 19年1月SKCリスクアセット算出支援システムを導入して、リスクアセットの精緻化に努めました。 19年1月31日「パーゼルII（新BIS規制）に関する説明会」に出席しました。 19年2月13日「関東・甲信越地区SKC利用研究会」に出席しました。 19年2月パーゼルIIのリスクアセットに基づいた期末の自己資本比率を算出しました。また、当組合のパーゼルII対応スケジュール表並びに当組合の採用手法を取りまとめました。 平成19年2月23日本部職員を対象にした第2回パーゼルII対応勉強会を実施しました。 平成19年3月6日自己査定基準説明会を実施し、償却・引当の留意事項等について研修を実施しました。 			
(2)	収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 債務者区分と整合的な内部格付制度の構築 <ul style="list-style-type: none"> 管理会計手法の研究と業績評価基準との関連付けを検討 信用リスクデータの蓄積と活用 リスクに見合った金利設定を行うための体制整備 <ul style="list-style-type: none"> リスクに見合う適正な金利設定のための内部基準の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 管理会計手法の研究 信用リスクデータの蓄積と活用 適正金利設定のための内部基準の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 融資関係手数料を新設し、不動産担保新規設定手数料を18年2月1日より適用開始しました。 「リスクプライシング算定表」を制定し、信用リスクに応じた適正金利を設定しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 帝国データバンク「倒産確率予測値モデル及び予測値データ」を活用した「ぼうしんビジネスローン」を推進致しました。 			

項番	項目	取組方針及び目標	具体的取組策とスケジュール			進捗状況		
			17年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月			
(3)	ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> 半期開示の内容充実 上部団体における検討結果や、他金融機関の取組状況等を参考に、内容充実にも努める 総代会の機能強化に向けた取組み 上部団体における検討結果を踏まえ、組合員の意見を反映させる仕組みを検討・実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 上部団体の検討結果を踏まえ、他金融機関と当組合の取組状況を比較検討し、開示項目・方法の見直しを行う 上部団体の検討結果を踏まえ、総代会の機能強化方法を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 17年度ミニディスクロージャー誌に、相談・苦情受付ホットライン及び地域密着型金融推進計画を新たに掲載し、11月30日に開示しました。 17年度下期についても、店長による総代・組合員への訪問を行い、意見聴取を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 全信中協が取りまとめた「信用組合における半期情報開示に関する基本的考え方」に基づき、18年度ミニディスクロージャー誌を作成し、18年11月29日に開示しました。 			
(4)	法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> 営業店に対する法令遵守状況の点検強化 コンプライアンス・オフィサーの育成（資格取得奨励）、関連勉強会の実施状況の点検強化、各種会議等を通じた啓蒙、検査・監査の強化 顧客情報の適切な管理・取扱い 個人情報管理態勢に関する定期点検の実施、各種会議等を通じた啓蒙、検査・監査の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 関連資格の取得奨励 関連勉強会等の実施状況の点検強化 個人情報管理態勢の四半期毎の点検 各種会議等における啓蒙活動の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティポリシーを制定しました。 検査室検査、監事監査に於いて、法令等遵守状況の適切性、有効性についてチェックしました。 勉強会の記録を四半期毎に提出させ、実施状況、内容を把握し、内容の充実を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス・マニュアルを改定し、職員に周知し、法令等遵守態勢の強化に取組みました。 内部検査及び監事監査を実施し、指摘事項に対しては改善対応策により法令等遵守態勢の強化を図りました。 			
(5)	ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> ITの戦略的活用に向けた取組み 業界団体が運営する「しんくみ生活総合センター」「あのねット」の活用 インターネット、モバイル・バンキングの稼働 	<ul style="list-style-type: none"> しんくみ生活総合センター等からの情報収集と情報提供方法を検討する インターネット、モバイル・バンキングの稼働 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット・バンキング、モバイル・バンキングについては、19年年内稼働に向けて準備を進めています。 あのねットサービスを19年度中稼働に向けて準備を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット・バンキング、モバイル・バンキングは、不正取引の早期発見やセキュリティ対策等安全面を重視し、慎重に進めており、年内稼働を予定しています。 19年3月20日「あのねット経営診断」システムの説明会に参加しました。 			
(6)	協同組織中央機関の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 市場リスク管理態勢の強化と収益性の確保 上部団体等が開催する市場リスク関連セミナー等に積極的に参加し、能力アップを図る 適切なリスク管理を図るため有価証券運用基準の見直しを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 関連セミナーへの参加 有価証券運用基準の見直し 資金運用会議の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 17年7月14日～7月15日（大和証券運用・リスク管理セミナーに参加） 17年7月21日～7月22日（野村証券運用・リスク管理セミナーに参加） 各セミナーに参加しリスク管理の徹底・運用の強化を図ります。 満期保有目的を活用しました。 オルタナ系の投資信託を検討しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 収益確保のため預け金の一部を短資運用に切り替えました。 			

3. 地域の利用者の利便性向上

項番	項目	取組方針及び目標	具体的取組策とスケジュール			進捗状況		
			17年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月			
(1)	地域貢献等に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献に関する情報開示の積極的な取組み 上部団体における検討結果や、他金融機関の取組状況等を参考に、内容充実にも努める 充実した分かりやすい情報開示の積極的な推進 利用者からの相談・照会事例をQ&A形式で公表するなど、充実した情報開示に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 上部団体の検討結果を踏まえ、他金融機関と当組合の取組状況を比較検討し、開示項目・方法の見直しを行う Q&A形式の公表方法等を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 17年度ミニディスクロージャー誌に、相談・苦情受付ホットライン及び地域密着型金融推進計画を掲載し、11月30日に開示しました。 お客様の立場になって、見やすく分かりやすくなるように用語の使い方等を検討しました。 お客様からの質問・相談の収集・集計方法、体制等を検討しました。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様からの質問や相談等で多いものについて、19年2月20日Q&A形式でホームページ上に掲載しました。 			
(3)	地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性や利用者ニーズを踏まえたビジネスモデルの展開等、地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立 利用者ニーズを把握するためのアンケート等を実施し、業務に反映していく 	<ul style="list-style-type: none"> 第4四半期を目処に利用者に対するアンケートを実施し、ニーズの把握等を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 「休日融資相談会」の開催に向けての資料作成準備作業を行いました。 利用者満足度調査（お客様アンケートのお願い）に向けての資料作成準備作業を行いました。 17年11月6日より「休日融資相談会」を毎週実施することとしました。 17年12月に利用者満足度調査（お客様アンケートのお願い）を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 「休日融資相談会開催」は平成17年11月より継続しています。 平成19年3月に利用者満足度調査（お客様アンケートのお願い）を実施しました。 			
(4)	地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> 地域再生推進に向けた各種施策との連携等、地域活性化に向け地域と一体となった取組み 行政や商工団体等からの情報収集に努め、地域再生への協力態勢を整える 	<ul style="list-style-type: none"> 地域再生施策に関する情報収集に努め、参画・協力態勢を整える 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に各行政窓口への情報収集を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各行政窓口への情報収集を実施しましたが、具体的な施策及び連携はありませんでした。 			

お客さま、犯罪にご注意ください！

<ぼうしんからご利用のお客様へのお願い>

通帳・印鑑・キャッシュカードの盗難にご注意ください！

通帳・印鑑・キャッシュカードのうち一つでも紛失した場合には、直ちにお取引店またはお近くの本店までご連絡ください。

なお、当組合休業日及び営業時間外（早朝・深夜）においては、右記番号へご連絡ください。

営業時間外のご連絡先

信組情報サービス
自動機集中監視センター **047-498-0151**

受付時間（平日）午前7時から午前9時まで
午後5時から午後10時まで
（休日）午前8時から午後8時まで

暗証番号の変更はお済みでしょうか？

最近、偽造・盗難キャッシュカードにより預金が不正に引き出される被害が増加しています。

お客さまにおかれましては、そうした被害に遭われぬよう、以下の点に日頃から十分ご注意ください。

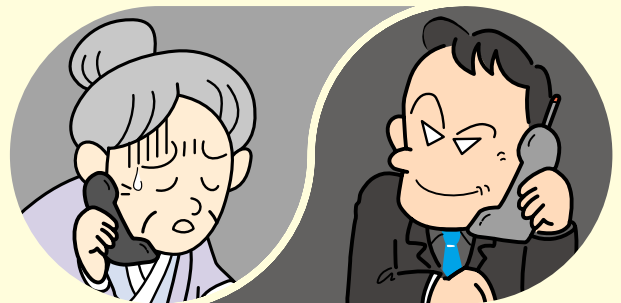
- 暗証番号は、生年月日、自宅の電話番号・番地、勤務先の電話番号・番地、自動車のナンバー、4桁すべて同じ番号、連続した番号等他人に推測されやすい番号の利用は避けましょう。
推測されやすい暗証番号をご使用されているお客さまは、すみやかに変更されることをお勧めします。
- 第三者に暗証番号を知らせたり、キャッシュカードを渡したり、キャッシュカードの裏面や手帳・メモ用紙などに暗証番号を書いて保管することはやめましょう。
- キャッシュカードの暗証番号をロッカー、貴重品ボックス等で使用しないようにしましょう。
- キャッシュカードを自動車内等の他人の目につきやすい場所に放置することはやめましょう。
- キャッシュカードも通帳や印鑑と同様に大切なものですので、厳重な管理をお願いします。
長時間お手元からお離しにならないようにしましょう。
- ATMご利用の際は、のぞき見されないようご注意ください。また、ATMのご利用明細書をむやみに捨てることはやめましょう。
- 当組合の職員や警察官がATMコーナーや電話等で暗証番号をお尋ねすることはありません。ご不審な場合は、お取引店へご照会ください。

※暗証番号のご変更は、お取引店の窓口までお申出ください。

不正な振込請求にご注意ください！

「おれだけ」と息子や孫を装い、交通事故の示談金や借金返済などの費用と偽って、振込を要求する「振り込め詐欺」などが多発しています。

- このような電話が掛かってきたら、振込手続きをする前に必ずご家族に事実かどうか確認し、少しでも不審に思ったら、警察に相談し、詐欺の被害に遭わないようご注意ください。
- 今後も当組合では、お客様が詐欺被害に遭われないよう、未然防止に努めて参ります。

**不正口座取引防止について**

近年、マスコミ等で報道されていますとおり、預金口座を不正に利用して違法な取立て、架空料金請求詐欺等の事件が多発し、大きな社会問題となっています。

こうした動きに対し、当局からも各金融機関に対して預金口座が犯罪行為の温床にならないよう、法令等に則した迅速、厳正、適切な対応を要請されております。

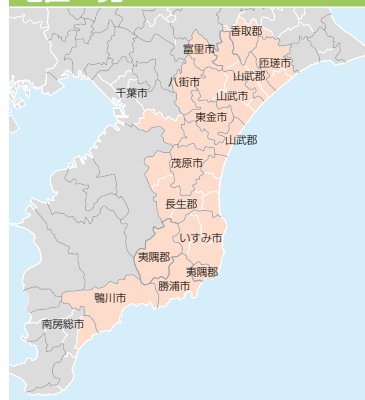
当組合ではこの問題を重大に受け止め、本人確認法、組織的犯罪処罰法、預金規定等に則った対応を下記のとおり実施しておりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

- 口座開設時等に、本人確認法によりお客様のご本人確認を徹底しております。
- 住所、勤務先等が遠方の場合、口座開設のご事情を詳しくお伺いさせていただくことがございます。また、通帳発行につきましては、郵送による方法とさせていただきます。
- 疑わしい取引と判断した場合には、すみやかに当局へ届出ております。
- 口座の不正利用防止のため、以下の場合等には預金取引停止または預金口座を解約させていただきます。
 1. 預金口座の名義人が存在しないことが明らかになった場合、または預金口座の名義人の意思によらず、開設されたことが明らかになった場合
 2. 口座開設時の届出内容に虚偽が明らかになった場合、または口座開設時の提出資料が真正でないことが判明した場合
 3. 預金規定に基づき、偽名口座、借名口座、口座の譲渡等が明らかになった場合、または口座が法令や公序良俗に反する行為に利用され、またはその恐れがあると認められた場合等

店舗一覧表

店名	住所	電話	FAX	ATM
本部	茂原市高師町1丁目10番地5	0475(22)5111	0475(23)9777	
本店	茂原市高師町1丁目10番地5	0475(22)6111	0475(22)6112	3
本納支店	茂原市本納1773番地	0475(34)3302	0475(34)3318	2
一宮支店	長生郡一宮町一宮3089番地	0475(42)2061	0475(42)2071	2
長南支店	長生郡長南町長南2474番地の4	0475(46)1159	0475(46)1303	1
夷隅町支店	いすみ市刈谷189番地の1	0470(86)2150	0470(86)3689	1
町保支店	茂原市町保42番地の22	0475(24)2321	0475(25)4800	1
岬支店	いすみ市岬町長者183番地の1	0470(87)2214	0470(87)7696	1
大原支店	いすみ市大原9231番地の3	0470(62)2225	0470(63)1807	1
白子支店	長生郡白子町五井1708番地の1	0475(33)3612	0475(33)3594	2
岬東支店	いすみ市岬町椎木1781番地3	0470(87)3166	0470(87)5971	1
茂原支店	茂原市茂原347番地	0475(24)3335	0475(24)3337	1
鴨川支店	鴨川市横渚885番地の1	04(7092)1221	04(7093)1277	1
天津小湊支店	鴨川市天津1212番地の4	04(7094)0173	04(7094)0159	1
長狭支店	鴨川市松尾寺435番地の6	04(7097)1131	04(7097)1130	1
勝浦支店	勝浦市勝浦28番地の1	0470(73)0025	0470(73)0099	1
御宿支店	夷隅郡御宿町須賀450番地の6	0470(68)2731	0470(68)2115	1

地区一覧



茂原市、東金市、八街市、長生郡、夷隅郡、いすみ市、山武郡、山武市、匝瑳市、富里市、香取郡(多古町)、千葉市緑区(土気、大椎、大木戸、小山、越智、高津戸、大高、上大和田、下大和田、小食土、板倉の区域に限る)、鴨川市、勝浦市、南房総市(和田町に限る)

索引 各開示項目は、下記のページに記載しております。なお、*印は、「協同組合による金融事業に関する法律施行規則」で規定されております法定開示項目です。

■ごあいさつ	1	役員取引の状況	11	*バーゼルIIIに関する事項	15~17
【概況・組織】		その他業務収益の内訳	12	【財産の状況】	
事業方針	1	経費の内訳	11	*貸借対照表、損益計算書、剰余金処分計算書	9~11
*事業の組織	4	*総資産経常利益率	11	*リスク管理債権及び同債権に対する保全額	13
*役員一覧(理事および監事の氏名・役職名)	4	*総資産当期純利益率	11	*金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額	13
*店舗一覧(事務所の名称・所在地)	22	【預金に関する指標】		*バーゼルIIIに関する事項	15~17
自動機器設置状況	22	*預金種目別平均残高	12	*有価証券、金銭の信託等の評価	12
地区一覧	22	*定期預金金利区分別残高	12	外貨建資産残高	14
組合員数	11	預金者別預金残高	12	オフバランス取引の状況	11
子会社の状況	14	財形貯蓄残高	12	先物取引の時価情報	12
【主要事業内容】		職員1人当り預金残高	12	オプション取引の時価情報	取扱いなし
*主要な事業の内容	2	1店舗当り預金残高	12	*貸倒引当金の内訳(期末残高・期中増減額)	14
【業務に関する事項】		【貸出金等に関する指標】		*貸出金償却額	14
*事業の概況	3	*貸出金科目別平均残高	12	*会計監査人による監査	17
*経常収益	11	*貸出金金利区分別残高	14	代表理事による適正性・有効性の確認	17
業務純益	11	*貸出金担保別残高	13	【その他の業務】	
*経常利益	11	*貸出金使途別残高	14	内国為替取扱実績	14
*当期純利益	11	*貸出金業種別残高・構成比	14	外国為替取扱高	14
*出資総額、出資総口数	11	*債務保証見返担保別残高	13	公共債窓販実績	14
*純資産額	11	*預貸率(期末・期中平均)	12	公共債引受額	14
*総資産額	11	消費者ローン・住宅ローン残高	14	手数料一覧	6
*預金積金残高	11	代理貸付残高の内訳	14	【その他】	
*貸出金残高	11	職員1人当り貸出金残高	12	トピックス	3
*有価証券残高	11	1店舗当り貸出金残高	12	沿革・あゆみ	1
*単体自己資本比率	11	【有価証券に関する指標】		個人情報保護宣言	4
*出資配当金	11	*商品有価証券の種類別平均残高	取扱いなし	総代と総代会について	8
*職員数	11	*有価証券の種類別・残存期間別残高	12	地域密着型金融推進計画の進捗状況	18~20
【主要業務に関する指標】		*有価証券科目別平均残高	12	ぼうしんからのお願い	21
*業務粗利益および業務粗利益率	11	*預証率(期末・期中平均)	12	【地域貢献に関する事項】	
*資金運用収支、役員取引等収支およびその他業務収支	11	【経営管理体制に関する事項】		地域貢献に関する情報	5~7
*資金運用勘定・資金調達勘定の平均残高、利息、利回り、資金利鞘	11・12	*リスク管理体制	2		
*受取利息、支払利息の増減	11	*法令等遵守態勢	2		